

磐梯山



御館中学校 1年1組 学級通信
No.47
令和4年3月15日(金) 発行
文責: 中澤 幸子

第77回 桜卒業証書授与式

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。3月になってから急に寒さが戻り、春が待ち遠しかったここ最近、卒業生のみなさんのたくましさや強さがいっそう強く感じられたような気がします。12名の卒業生が大空に羽ばたく鳥たちのように、早春の柔らかい光を浴びながら思い出多い学び舎を巣立っていきました。9年間の義務教育を終えた卒業生は、とても晴れやかで清々しい表情でした。厳粛な雰囲気の中での緊張感は、小学校の卒業式とはひと味違い、新米1年生にもひしひしと伝わってきたと思います。先輩たちが歩んだ3年間を振り返りつつ、みんなのこれからのか2年間を思い描きながら、滞りなく式は終了しました。少ない人数ではありますが、在校生から心のこもった式歌を贈ることができ、良かったです。上手に歌えましたね。そんな中での卒業生の歌は、本当に心に染みました。3年間の特別な思いが込められている式歌だなど、聴いていて感じました。

先輩達の3年間は、一体どんな3年間だったのでしょうか。私たちが全力投球で過ごしてきたこの1年の3倍??の濃さがあった3年間だったのでしょうか?卒業式での先輩方の表情を見ていて、すぐに答えがわかりました。さまざまなことがあ

った3年間を、それぞれのペースで精一杯走り抜けてきたのだと思います。きっとそうに違いありません。4月になったら新しい道で新しい自分を見つけ、中学校時代以上に輝いている先輩たちの姿が目に浮かびます。御館中で12人の仲間と共に過ごした3年間は、何ものにも代えがたい毎日だったでしょう。みんなも同じ時を一緒に過ごすことができて、本当に良かったと思います。先輩に教えていただいたことや先輩とのたくさんの思い出は、いつまでも大切にしてください。先輩が流していた美しい涙は、悔いのない学校生活を送ることへの『証(あかし)』のように感じました。2年後、みんなもあのくらい美しい涙を流せるよう、立派に成長してください。そんな姿がちょっとだけ想像できるようになりました。



前任校でお別れしてきた私のクラスだった生徒たちも、立派な姿で巣立っていましたと聞きました。陰ながら見守ってきた2年間だったので、なんかホッとしたしました。御館中の先輩同様、高校で活躍してくれることを信じています。



<卒業生同様に在校生の式歌も本当素晴らしく、久々に鳥肌が立ちました>

<笑顔でお別れする卒業生>



<卒業したお兄さんへ> N・Sさん

今までいろいろなことを教えてくれて、ありがとうございました。自分が何かやらかしてしまった時にすごくサポートしてくれて、ありがとうございました。高校生活ではその素晴らしい身体能力をたくさんのことにつなげて下さい。



<卒業したお兄さんへ> M・Kさん

3年間お疲れ様でした。高校が決まったら少しくらい息抜きしてドラムやって下さい。高校生になっても勉強頑張ってくださいね。

『応援してるよ!』



月日	18(月)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)
予定	A6 18:00下校	A6 18:00下校	春分の日 	A6 18:00下校	修了式・部休日 12:40下校